

こんにちは



ひがしかぐら

NO. 92

議会だより です

ひがしかぐら



主な内容

第4回定例会 ● 平成28年12月14日～12月15日

- 年頭のあいさつ
- 一般質問 7名
- 意見書・決議
- 主な議案・議会の動き・臨時会
- 研修報告・成人式



謹賀新年



年頭のあいさつ

東神楽町議会議長

蒔田栄

栄

新年、明けましておめでとうございます。

御家族お揃いで輝かしい新春を迎えてられましたことに、心よりお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、国際情勢では英国のEU離脱、米国の大統領選挙、各地で続発するテロ事件など国際社会が激しく揺れ動いた1年でありました。

国内では、4月に発生した熊本地震や度重なる台風被害などにより尊い人命が失われ、また大勢の方々が被災し不便な日常生活を余儀なくされたところでもあり、被害にあわれました皆様には心からお見舞い申し上げます。

本町におきましても、8月の大雨により稻荷川、八千代川があふれ、床下浸水や農地などへの冠水、法面の崩壊など大きな被害が発生しました。自然の力を痛感すると同時に、常日頃からの災害への心構え、備えの重要性を実感しているところであります。

一方、3月には北海道新幹線が開業し、北海道から九州まで日本列島が新幹線でひとつにつながりました。新幹線開業をきっかけに、東北地方をはじめ首都圏など各地域との交流が活発になり、今後の道内観光・経済の活性化につながると期待されております。

8月に開催されたブラジルのリオデジャネイロオリンピックでは、地球の裏側で続く熱い戦いに目が離せず、連日寝不足になられた方も多かったのではないかでしょうか。

また、サッカーではコンサドーレ札幌が5季ぶりのJ1昇格を果たしたほか、プロ野球では日本ハムファイターズが10年ぶりの日本一に輝き、北海道を大いに沸かしてくれました。その日本ハムファイターズから、中田翔選手と白村明弘選手が東神楽町の応援大使として就任することが決まり、今年1年、両選手との交流で町がさらに活気づくことと期待がふくらむところです。

さて、私たち議員12名が町民の皆様に支えられ、新たな構成で町政の発展に取り組み始めてから2年が経過しようとしております。現任期の折り返し点を迎えるにあたり、議員一同、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、より豊かで魅力あるまちづくりに向けた議員活動に全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

終わりに、本年が皆様にとりまして実り多き年となりますことを祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

東神楽町議会

議長 蒔田 一乘
副議長 伊藤 一榮

総務厚生常任委員会

委員長 清野修一
副委員長 渡辺一志
委員員竹久美紀恵
委員員大門登栄

議会広報常任委員会

委員長 渡辺一志
副委員長 竹久美紀恵
委員員山口千春
委員員中屋豊孝
委員員大門栄

議会事務局

事務局長 高橋光
書記 香川靖
高橋光
香川靖
惠浩

文教産業常任委員会

委員長 山口千春
副委員長 森國孝
委員員竹久美紀恵
委員員大門登栄
委員員伊藤一隆
委員員丸山豊
委員員中澤孝
委員員森功
委員員伊藤芳
委員員丸山春

議会運営委員会

委員長 大門栄
副委員長 中屋豊孝
委員員山口千春
委員員伊藤一修
委員員清野登栄
委員員伊藤孝登

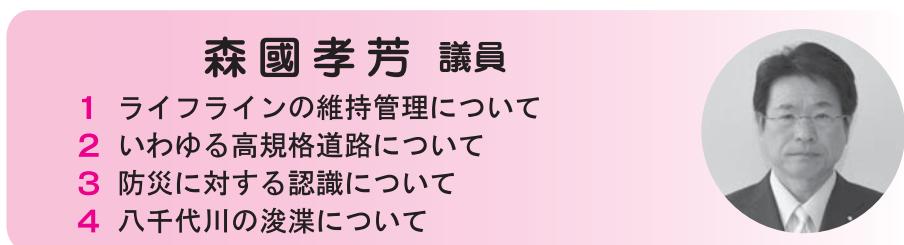




伊藤一乗 議員

- 1 東神楽町小・中学校の校舎内施設整備状況

ここが
聞きたい



森國孝芳 議員

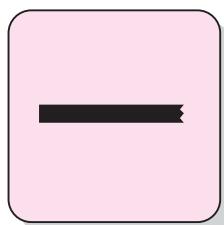
- 1 ライフラインの維持管理について
- 2 いわゆる高規格道路について
- 3 防災に対する認識について
- 4 八千代川の浚渫について



渡辺一志 議員

- 1 総合体育館前の道路側溝の改修計画は
- 2 アゼリアハイツの雨漏改修を早急に

質問・答弁は要約されています。
質問・答弁内容は質問者が要約した内容を載せてあります。
詳しく知りたい方は、議会事務局とふれあい交流館に会議録がありますのでご利用ください。

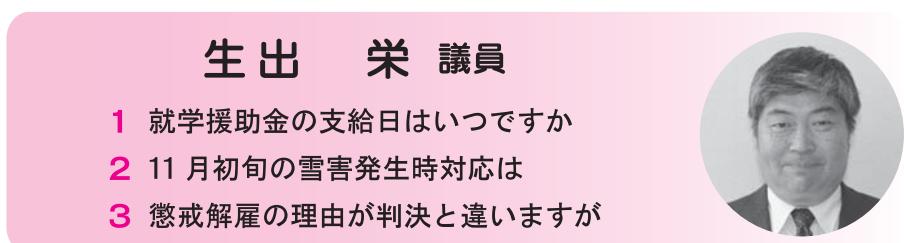


第4回定例会では
7人が一般質問しました。



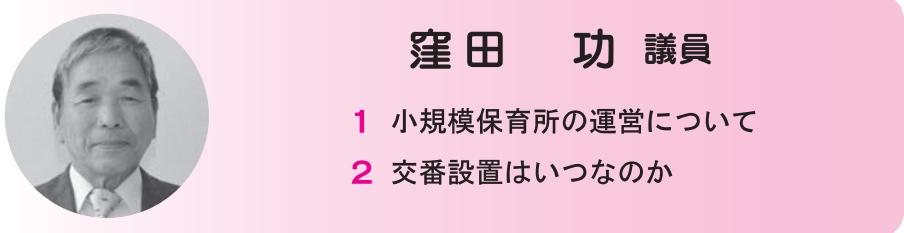
竹久 美紀恵 議員

- 1 不妊治療費の全額助成を



生出 栄 議員

- 1 就学援助金の支給日はいつですか
- 2 11月初旬の雪害発生時対応は
- 3 懲戒解雇の理由が判決と違いますが



窪田 功 議員

- 1 小規模保育所の運営について
- 2 交番設置はいつなのか

伊藤一乘議員

問 町内小・中学校のトイレの洋式化と水道配管の改修・整備状況は

答 学校施設全般について、児童・生徒が良好な環境で学習できるよう整備を進めている



質問 教育環境の整備は、児童・生徒に対して快適な学習環境や先進的な教材等を整備することで、やる気や意欲を持たせる要因になるものと思っています。

文科省では、11月10日に初めて全国公立の小・中学校のトイレの設置状況を公表しており、結果を見ると一般家庭の約90%が洋式トイレの設置状況にありながら学校では、約43%の設置率となっています。

当町の小・中学校における洋式トイレの整備状況について視察調査をしたところ、町内の小・中学校の一部施設を除いて洋式トイレが設置されておりました。

当町の地下水は、定期的な水質検査において健康に被害をあたえる有害な物質は含まれていないとの検査結果であります。

しかし、問題は、水道管の管路です。たとえば、東神楽小学校では、昭和52年に建築されてから約40年が経過し、休日明けの水道水に赤水が出ております。

志比内・忠栄の小学校では、赤水被害が最もひどく約30分以上も水流した上で使用しております。

この対応策として忠栄小学校では、浄水器を設置して管理しており、志比内小学校でも浄水器の設置を要望しております。

これらの状況を踏まえて、町としてどのような対応を考えているのか質問します。

町長答弁 町内小・中学校の施設及び備品等の整備については、緊急性などの優先順位を勘案して計画的に実施しております。

学校トイレの洋式化については、順次整備を行っているところで、今後も引き続き計画的にトイレの洋式化を進めてまいります。

再質問 学校トイレの設備については、自宅におけるトイレとの違和感や羞恥心などから、トイレを我慢するという児童もいると聞いたこともあります。

そうなると児童の健康問題にもかかわることになります。

今後とも是非、子どもたちのために快適な設備空間の確保に尽力願いたい。

の配管取替え工事には、一校に千数百万円の予算が必要とされ、当町の財政状況から見て早急な工事は困難と思われます。

また、浄水器の設置には管理やメンテナンス、ランニングコストなどを考慮すると最近では飲料水の宅配リースが旭川市内の病院や施設、事業所などでも利用されており、児童、生徒を含めて20人程度の学校であれば年間約15万円で済むとの試算もあります。

また、学校施設全般につきましては、志比内小学校にも今年度中に水の赤水問題ですが、水道水の送水管、管路の法定耐用年数は、40年とされており、赤水被害の出でております。

教育長答弁 水道水の対応策については、志比内小学校にも今年度中に浄水器を設置いたします。

また、学校施設全般につきましては、志比内小学校にも今年度中に浄水器を設置いたします。



東神楽小学校



忠栄小学校浄水器

森國孝芳■議員



問 ライフラインの維持管理について

答 緊急度の高いものから順次修繕しています

質問 町長は、町内業者らと旭川健管を要望するなど「高規格道路」の早期着工を最優先課題としているようにみえます。

ところで、事業認定の際の推計交

通量疑義を指摘されたまま今日に至ったことが、この早期着工に支障

いわゆる高規格道路について

本町でも平成25年から3ヶ年かけカメラ調査を実施して、診断を行つたところでございます。診断結果を受け、緊急度の高いものから順次修繕を行つています。

今後の予防保全について、町長の方針を問います。

町長答弁 本町の下水道は、昭和54年から整備を進め、おおよそ37年が経過しております。

本町でも平成25年から3ヶ年かけカメラ調査を実施して、診断を行つたところでございます。診断結果を受け、緊急度の高いものから順次修繕を行つています。

防災に対する認識について

質問 9月の定例会において、今夏の八千代川の氾濫の質問に対し、町長は「緊迫した事態ではなかった」ともどれる答弁をしました。

では、今回の災害が「緊迫した事態」でなかったのならば、どのような場合を「緊迫した事態」と定義するのですか。

町長答弁

今回の災害が「緊迫した事態ではなかった」という意味の答弁ではありません。

北海道が予算の関係で浚渫を行な

えず、河川に土砂が留まるなど流下能力を阻害する恐れがある場合には



八千代川の土のう

住民の生命と財産を守ることを最優先と考えています。

一方で、その僅か1ヶ月前に発生した八千代川の氾濫対応と比べると、大きな違いがあります。この対応の落差について理由を示して下さい。

町長答弁

高規格道路並みの熱意を求めていたということですが、決して対応に差をつけていません。

質問 八千代川の改修工事の早期着工が望れます。さらに速やかな浚渫も不可欠です。

そんな中、町長は、町内業者らと道に要望するなどして、「高規格道路の早期着工」に対しては熱意を感じさせます。

八千代川の浚渫について

「緊急やむを得ないもの」として町で浚渫することもある、ということです。

渡辺一志 ■ 議員

問

総合体育館前の道路側溝改修計画は

答

歩道設置に向け、前向きに検討する



南2条通総合体育館前



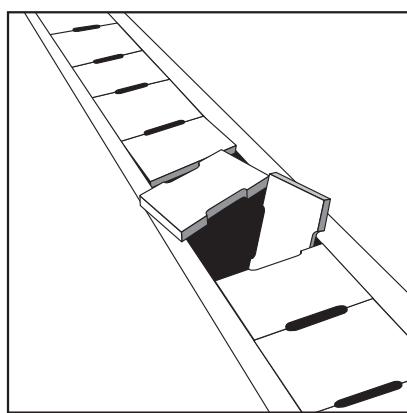
アゼリアハイツ天井

町長答弁 雨漏りがあることは承知しております。指定管理者の東神楽町社会福祉協議会と協議を行なっています。本年度から順次、改修を行なう予定としています。施設の老朽化に伴い屋根の他にも改修等が必要となってきており、計画的に整備を進めいかなければならぬと考えています。

安心して入居者が生活できるよう早急に改善すべきである。

質問 正面玄関側の改修は終了し、安心して利用できる状態となっていますが、ホールから奥の廊下と玄関の雨漏りは改修されていません。

アゼリアハイツの雨漏り改修を早急に



置蓋式コンクリートトラフ



デーサービス玄関天井

質問 南2条通りの総合体育館前の道路側溝が置蓋式のコンクリートトラフで蓋がずれたり、落ちている場合もあります。

この場所は歩道となつていません。歩行者の安全と事故防止のために改修する考えがあるのか。

町長答弁

総合体育館前の町道の一部区間には、歩道が設置されています。町道南2条通り線は、総合体育館を利用する方や通学者が多く通行する路線でありますので、今後、歩道設置に向け、前向きに検討します。

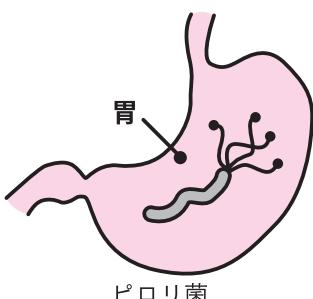
大門 登議員

問

中学生にピロリ菌検査を

答

実施する方向で検討する

**再質問**

この数年、ピロリ菌の除菌が浸透したため、胃潰瘍や十二指腸潰瘍も減少している。早い時期から除菌していれば次の世代のガンの発生が少なくなつていくので、なるべく早い時期から実施していただけると考えを伺いします。

町長答弁

東神楽町としても、以前から、他の自治体より先駆的に実施している学童生活習慣病予防診断の中に取り入れて実施することを検討していた。学童検診にピロリ菌検査を加えることで、学童検診をより多くの方に受診していただきつかけにもなるので、実施する方向で検討する。

町長答弁 東神楽町としても、以前から、他の自治体より先駆的に実施している学童生活習慣病予防診断の中に取り入れて実施することを検討していた。学童検診にピロリ菌検査を加えることで、学童検診をより多くの方に受診していただきつかけにもなるので、実施する方向で検討する。

質問 胃ガンはピロリ菌の感染とされている。ピロリ菌を中学生時に除菌することで、将来胃ガンになるリスクがほぼゼロにできると言われている。中学生時に健康診断項目にピロリ菌検査を加えて積極的に取り組んではどうか。町長のご見解をお伺いします。

再質問 東神楽町「花のまち」で個人ガーデン・公園花壇・町道の花壇等いろいろな場所に花を植えられて通行人の癒しと潤いを与えてくれます。ひじり野地域でも春花が5000株

町長答弁 「検査・除菌治療が胃ガン撲滅の重要な方法」と認めた上で、次年度以降にも実施する方向で検討したい。

町道の花壇について

質問 各町内会員の協力で、春花・夏花の苗植えをしています。4月下旬に春花が植えられ2ヶ月余りで、生育の途中で綺麗に咲いた花が破棄されていますが、「もったいない」とか「税金の無駄遣いではないか」との批判の声がありますので、春花を廃止して、夏花の苗植えを1ヶ月位早めてはどうか。町長のご見解をお伺いします。

町長答弁 状況によって、変えていくのも当然だと思います。調査・研究を進めさせていただきます。



ひじり野地域の道路花壇

で町全体で約1万株以上がゴミ袋に破棄されている。各スーパーでは5月上旬には夏花の苗を販売している。又は、他の自治体では、夏花を中心として植えられている様です。花ぐらいと軽く考えないで、東神楽町も検討してはどうか。伺いします。

竹久美紀恵 ■議員

問

不妊治療費の全額助成を

答

次年度以降の検討をさせて
頂きます



東神楽町の母子健康手帳

町長答弁 特別に行つていません。
不妊治療費の助成は有用な制度であると認識をしています。しかし、国の助成制度以上の行うには「財源確保」「どのような支援方法が可能であるか」さらに「助成を継続して取り組めるか」など調査・研究をして参りたいと考えております。

質問 急速に進む少子化に、国や道も不妊治療の対策を2004年から始めており、一部助成の申請数は道内では、4、429件に上り初年度より12倍に急増している。
しかし、不妊治療助成金（男性不妊治療・不育症）は各自治体によって格差があり不平等な現実です。また、不妊治療の苦悩や高額治療費の負担によって断念をするご夫婦が多いこと、不妊治療は女性だけの問題ではなく近年、半数が男性側にも原因があることも周知して頂きたく、当町の取り組みはどのように行っていますか。

町長再答弁 東川町の事例や他の市町村の事例も調べさせて頂いております。
次年度以降の検討をさせて頂きたいと思います。

なかなか妊娠しないと感じたら 2人で学ぶ 不妊症の基礎知識



不妊症を理解する 知っておきたい妊娠と不妊のこと
検査から始まる不妊治療 早めの受診で妊娠のチャンスを広げる
不妊治療と心のケア 前向きな気持ちで治療に臨もう

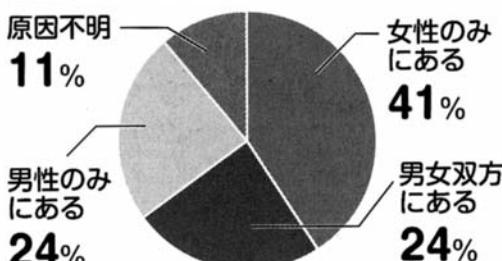
質問

急速に進む少子化に、国や道も不妊治療の対策を2004年から始めており、一部助成の申請数は道内では、4、429件に上り初年度より12倍に急増している。

再質問 5年前から特定不妊治療費の全額補助を行っている自治体では27年度の補助金額は約500万円の支出がありました。「安心して育てやすいまち」から「安心して産み育てやすいまち」と方針を変えたことで移住者や人口増に繋がりました。我が国の出生率は1・46人で、人口を維持するために必要な出生率は2・08人への回復は、依然として困難なようです。

少子化の進行は人口の構造上の高齢化や将来の生産年齢人口の減少など社会経済や社会保障のあり方にも重大な影響を及ぼすことが懸念されている今、取り組んでいかないくては行けない政策だと考えます。

WHOによる7273カップルの不妊症の原因調査



■特定不妊治療費助成事業

保険がきかないことも多く、何かと費用がかさむ不妊治療。特に体外受精と顕微授精は、1回の費用が高額になります。こうした経済的な問題から不妊治療をあきらめてしまう夫婦を支援しようと、国・自治体が治療費の一部を助成してくれる制度があります。所得制限など条件がありますので、詳細はお住まいの地域の自治体にお問い合わせください。



生出 栄・議員

問

就学援助金の支給を入学前支給に

答

より適切な時期に支給することも必要なこと
(教育委員長)



質問 就学援助金の支給日を、入学準備の3月に支給している市町村が増えていますが、我町はなぜ5月支給なのですか。

雪害発生時の対応状況は万全でしたか

教育委員長答弁 今後、教育委員会として、より適切な時期の支給を考えます。

教育長答弁 3月に入学準備金として支給していることは承知していますが、見直しに向けた調整を進めます。

町長答弁 できるだけ早い時期に支給することが必要と考えます。今後、関係機関と協議しながら検討します。

再質問 道教委の通達を見て、3月支給を決定した市が2市あります。共産党道議が取り上げ、通達になりました。どうしたらやれるかを考えるのが皆さん役目だと思いますが。

3月議会で「なぜできなかつたか」を聞かねばならないのでしょうか。通達には3月支給の手順までのつています。何を調査するのですか。

教育長再答弁 いつどのようにできるか、現在鋭意検討中です。



雪害による倒木で通行止めの町道

原因は、どこにあったのですか。
危機管理体制で足りない部分は何だと思いますか。

町長答弁

11月5・6日の大雪により、倒木による道路通行止め、送電線の切断、中央市街地・ひじり野市街地の委託路線も体制が整わず1日遅れで除雪作業となり、申し訳ない

と思っています。停電は6日未明から7日午前1時3分まで復旧に時間がかかり、6日15時から公民館を避難所として準備し22時に閉鎖しています。

今後の対応についても改善できるよう検討していきます。

質問 前議会で解雇の理由は「万引きです」と答弁されました。その後の公平委員会での証言で「解雇理由は、万引きではありません」とあります。このくい違いを説明して下さい。

町長答弁 又、別件の保健福祉課で起きた事件との関連性から、一連の再調査が必要とを考えますが、町長の所見を伺います。

再質問 現行犯逮捕され、新聞報道もあつたので懲戒解雇し、その後の裁判で裁量権を逸脱したものではないと判決が下されています。不起訴の経緯は、こちらが申し述べることではないと考えます。又、「過去の事件を隠ぺいする側に」との指摘がありますがその考へは一切ありません。

再質問 不起訴とは、罪は無いということです。刑は一切ないので。交通違反は罰金刑です。軽犯罪での罰金刑でも懲戒解雇ですね。確認します。

町長再答弁 さまざまルールがあり、それに基づいて、事案ごとで適正に対応して行きます。

懲戒解雇の理由が判決と違うのでは違いますか。

● 窪田 功 ■ 議員



問 小規模保育所の運営について

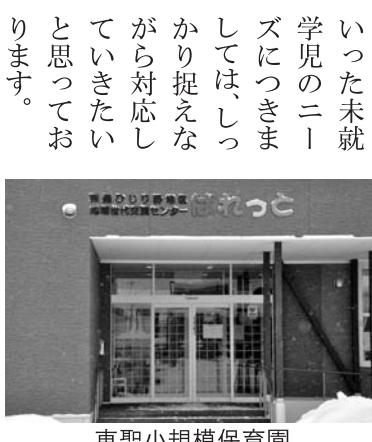
答 良い環境の保有施設運営に努めます

町長答弁 1点目の東聖小規模保育園の調理室につきましては、園児数10人の定員に対応できる調理施設や設備が整っているものと考えております。小規模保育事業でありますので、保育士の目が届きやすく、園児1人1人に応じた保育ができるといったメリットを活かしながら、引き続きより良い環境の保育施設として運営できるよう努めてまいります。

朝の除雪体制につきましては、開園時間に間に合うよう体制を整えてまいります。保育士の勤務体制につきましては、緊急時の対応等を含めて中央保育園と連携して、代替保育士が相互に協力することで対応していくが近いうちに代替保育士を増員します。

交番設置はいつなのか

質問 東神楽交番が工業団地角地において、設置されると議会で報告がなされて、2年近くになりますが、今だに動きが見られません。町民の



東聖小規模保育園



交番予定地

質問 東聖小規模保育所に現在幼児8人が入所されていますが、共同使用する炊事場の流しが手狭ではないかと思われます。入所が2・3人増えると現場では、使用が困難とお聞きしています。共同で運営されている建物では限界があり、それらの諸問題を解決するには、新しい施設を建てる計画は無いのか。検討する必要があると思いますが、朝7時半受け入れるには除雪体制ができるいるのか。現在保育士3名、臨時保育士が1人体制ですが現場の声としてもう1人確保して欲しいとの意見があります。

受け入れるには除雪体制ができるいるのか。現在保育士3名、臨時保育士が1人体制ですが現場の声としてもう1人確保して欲しいとの意見があります。

町長答弁 1点目の東聖小規模保育園の調理室につきましては、園児数10人の定員に対応できる調理施設や設備が整っているものと考えております。小規模保育事業でありますので、保育士の目が届きやすく、園児1人1人に応じた保育ができるといったメリットを活かしながら、引き続きより良い環境の保育施設として運営できるよう努めてまいります。

朝の除雪体制につきましては、開園時間に間に合うよう体制を整えてまいります。保育士の勤務体制につきましては、緊急時の対応等を含めて中央保育園と連携して、代替保育士が相互に協力することで対応していくが近いうちに代替保育士を増員します。

する予定しております。

再質問 東聖小規模保育所と施設利用者がお互いに遠慮して利用しているような雰囲気が見受けております。

安心・安全、交通治安上からも早く開設することを願っている次第です。今後の見通しをお聞き致します。

町長答弁 この件につきましては、北海道の予算となりますので確定的なことを申し上げることはできませんが、これまで旭川東警察署には早朝着工を要望しておりますので、平成29年度の着工に期待しているところであります。

町長答弁 それぞれの保育ニーズをしっかりとつかまえながら設備の整備を行うところで、現段階におきまして新しい保育園を建てる予定はございません。しかしながら今後のそれぞれの保育所、保育園、幼稚園、こども園と

いった未就学児のニーズにつきましては、しっかり捉えながら対応していくたいと思います。

町長答弁 コンビニが出来たことによって交通状況が変わっているといふことも私の方からも、旭川東警察署の署長に申し上げたところです。早めに設置、早期着工してほしいと、引き続き要望していただきたいと思います。

意見書の提出及び決議

第4回定例会 平成28年12月14日～15日

12月15日第4回町議会に於いて、次の意見書5件及び決議を1件を可決し、政府並びに町、関係行政機関に提出しました。

1. 「現行の介護保険サービスの継続と介護従事者の待遇改善を求める」意見書
2. 「地方議員の厚生年金制度への加入を認める」意見書
3. 「大雨災害に関する」意見書
4. 「JR北海道への経営支援を求める」意見書
5. 「八千代川改修工事の早期着工を求める」意見書

決議

1. 「八千代川及び稲荷川の速やかな浚渫を求める」決議

決議

八千代川及び稲荷川の速やかな浚渫を求める決議

今定例会には、文教産業常任委員会より八千代川改修工事の早期着工を求める意見書案が提出されたところである。当該事業が、わが町に住む町民の安寧な暮らしのために不可欠であることはいうまでもない。

しかるに、早期着工が実現したとしても、北海道の計画では、この完了までに30年の工期を要するものと見込まれている。一方、近年頻発する以上気象にかんがみるに、八千代川及び稲荷川河床の土砂を漫然放置していくは、これまで同様、さらにはそれ以上の災害が反復継続されることが必定というべきである。

よって当議会は、山本町長におかれでは八千代川改修工事の早期着工のみならず、河床土砂の浚渫もまた東神楽町の最優先課題として北海道に働きかけ、これらに至らない場合は河川管理者の許可を得るなどして町単費でもこれを実施し、もって安全・安心な町づくりに専心されることを強く求めるものである。

以上、決議する。

北海道上川郡東神楽町議会

東神楽町 町長 山本 進様

第4回定例会・主な議案

項目	内容
補正予算	
一般会計補正予算	全体として54,365千円の増額 平成28年国の補正により臨時給付金事業費など増額 26,874千円 ふるさと納税寄附金 28,000千円等
公共下水道特別会計補正予算	使用料の増額及び事業費の精査による補正
水道事業会計補正予算	事業費の精査による減額
条例の改正	
・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正	平成28年人事院勧告をもとに育児休業の対象となる子の範囲等国の法律改正による町関連条例を改正するもの
・税条例の一部を改正する条例	国の法律改正に伴い選出方法の変更による条文と定数を12名とするもの
・農業委員会の委員の定数に関する条例の一部を改正	
協定の締結	
・定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定	現行協定に新たに「農業生産技術等情報共有事業」を追加するもの

議会の動き（9月20日以降）

議長・議員の動向

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等
9月20日	東神楽町	健康の駅 オープンセレモニー	議長、議員
27日	旭川市	地域高規格道路整備 要望書提出	議長
10月16日 ～21日	三重県 愛知県	行政視察研修	議長、議員5名
20～21日	東川町	管内町村議会議長 研修会	議長
20日	東神楽町	行政視察 (議会広報、長沼町)	広報委員会、 正、副委員長
21日	東神楽町	アゼリアハイツ敬老会	副議長
25～26日	東京都	全国議会広報研修会	議員2名
26日	美瑛町	管内町村議員研修会	議長、議員8名
27日	旭川市	上川中央部監査委員、 補助員研修	監査委員、書記
10月31日 ～11月3日	東京都	全国監査委員会研修会	監査委員
8～11日	東京都 名古屋	第60回全国町村議会 議長全国大会	議長
10～11日	東京都	国営緊急農地中央活動	副議長
13～14日	帯広市	全道女性議員研修会	議員
15日	東神楽町	第42回東神楽町 社会福祉大会	議長、議員
16～17日	札幌市	全道監査委員、 補助員研修会	監査委員、局長
22日	旭川市	上川中央部正、 副議長研修会	正、副議長

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等
1月5日	東神楽町	消防出初式	議長、議員
8日	東神楽町	成人式	議長、議員
10日	東神楽町	新年交礼会	議長、議員

委員会

開催日	開催場所	委員会の名称、内容等	出席、参加者等
10月4日	委員会室B	第8回議会広報常任委員会	委員長、委員
6日	委員会室B	第9回議会広報常任委員会	委員長、委員
13日	委員会室B	第10回議会広報常任委員会	委員長、委員
18日	委員会室A	第4回文教産業常任委員会	委員長、委員
11月24日	委員会室B	第14回議員協議会	議長、議員
	委員会室A	第15回議員協議会	議長、議員
12月2日	委員会室B	第5回文教産業常任委員会	委員長、議員
7日	委員会室B	第6回文教産業常任委員会	委員長、議員
9日	委員会室B	第7回議会運営委員会	委員長、議長、議員
14日	議員控室	第16回議員協議会	議長、議員
1月13日	委員会室B	第10回議会広報常任委員会	委員長、委員
19日	委員会室B	第11回議会広報常任委員会	委員長、委員

議案	内 容	議案	内 容
歳出の主な補正	歳入の主な補正	歳出の主な補正	歳入の主な補正
ふるさと納税増収	ふるさと納税増収	地域づくり総合交付金の増額	平成28年度一般会計補正予算
事業	平成28年度一般会計補正予算	防災対策事業	東神楽町職員に関する条例の一部を改正する件
武隈翔太選手後援会事業	町道路線、起終点変更の件	土木機械管理費	40万円
40万円	3450万円	育苗センター維持管理費	162万円
44万円	6千円	防災対策事業	60万円
ファイターズ市町村応援大使	平成29年1月18日	土木機械管理費	190万円



日 時 平成28年10月25日
会 場 シェーンバッハ・サボー（砂防会館別館）
参 加 委 員 山口委員・生出委員
講 師 合同会社 耕文社 代表 赤羽博之氏
ウイズワークス株式会社 取締役 豊田健一氏
議 会 広 報 サ ポ ー タ ー 芳野政明氏

全国町村議長会主催による議会広報研修会に参加しました。この研修会は3人の講師を迎えて全国からは199の町村議会、北海道からは7つの町議会が参加しました。

各講師からは広報誌を読まれるようにするために必要な表記方法、また広報コンクールの優秀賞受賞紙を参考例とした説明といった技術的な面を中心に、広報誌づくりの参考になるお話を伺いました。

広報常任委員会

町村議会広報研修会に2名参加



平成28年11月13・14日北海道女性議員協議会が帯広市で行われました。各地で甚大な台風被害を受け、十勝地方におきましてもJRの交通機関の復旧の遅れに伴い、移動手段が制限された為、参加は少人数ではありました。が、9件の議案要望書の審査を行い、◎安心できる地域・医療体制の支援の充実◎診療報酬の引き下げ◎ひとり家庭の支援の充実◎介護従事者の待遇改善などを議決し、国道・関係省庁に要請いたしました。

又、帯広市長 米沢則寿氏による「フレーバーレーとかちの取り組みについて」の講演があり、十勝のカロリーベースでの食料自給率は1,000%を超えるなど、恵まれた豊かな自然力を生かし、「日本の『食』を支える十勝」『アジアの拠点を目指す』グローバル化など興味深い充実した内容で、当町においても参考にさせて頂きたいと拝聴して参りました。

第64回 北海道女性議員協議会（in十勝）竹久議員参加

120名の成人の皆様、おめでとうございます



平成29年1月8日 成人式（出席者数94名）

議会を傍聴して みませんか

住民などが議場の状況を直接見聞きできるよう、議会には傍聴席が設けられています。

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内でお金や物を送ることや文書による挨拶行為など法律で禁止されています。また、町民有権者が寄付を求めていいません。

ご理解をお願いします。

■議会広報常任委員会	
委 員 長 渡辺 一志	副 委 員 長 竹久美紀恵
委 員 山 口 千 春	委 員 中 屋 雅 田
生 出 功	生 出 栄